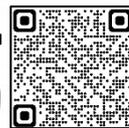


けいちく G I G A 通信



令和3年11月18日(木) NO.1 京築教育事務所教育指導室

ICTを効果的に活用できていますか？

GIGA スクール構想により1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークの整備が進められ、京築管内でも多くの学校の校内研修等で、ICT を活用した授業を公開していただいております。今年は、「GIGA 元年度」新たな学習ツール活用のスタートの年です。しかし、中には「どのような場面で活用したら効果的なのかな?」「他の学校ではどうしているのかな?」など、不安や疑問からなかなか一歩を踏み出せない先生もおられるのではないのでしょうか?

そこで、京築教育事務所では、先生方の不安や疑問を少しでも解消し、管内の先生方と子どもたちがICTの効果を実感して日常的に活用できるように、「けいちくGIGA通信」を定期的に発行していきます。ICT は、使ってみることで初めて分かることもあります。京築の子ども達を誰一人取り残さないために、各学校での取組の参考になれば幸いです。



どうしてICTを活用しなければならないの？

PISA2018では、日本は、学校の授業におけるデジタル機器の利用時間がOECD加盟国中最下位である一方、ネット上でチャットやゲームで遊ぶ頻度は1位という結果でした。この結果から、日本の子どもは、遊びではICTを使っているが学習には使っていないということが明らかになりました。また、学習指導要領では、「情報活用能力」が言語能力、問題発見・解決能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」として位置付けられました。また、Society5.0時代を生きる全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、児童生徒の「1人1台端末」等のICT環境を整備するGIGAスクール構想の実現が加速化されました。これを受けて、本県でも「福岡県学校教育ICT推進計画」が令和3年1月に策定されました。



将来子どもたちが生きていく社会では、ICTの活用が必須です。社会を生き抜くことのできるICT活用力を身に付けさせることは、我々学校教育に携わる教職員の使命となっています。



ICTを活用するとどんないいことがあるの？

下記に「ICTを活用するよさ」の一例を紹介します。使ってみる中で見つかるICTのよさや効果がきっとあります。活用する中で見つけた効果的な活用法をぜひ職員室の中で広めていってください。

- ① **拡大して提示することができます！**
着目させたいところを拡大して提示することが可能です。
- ② **繰り返し見聞きすることができます！**
理科の実験、体育・音楽・家庭科の実技等、音声、画像、映像等を何度でも見返して分析することが可能です。
- ③ **すぐに情報を収集することができます！**
分からないことなどがあったときに、インターネットの検索機能を使って、すぐに調べることが可能です。
- ④ **何度でもやり直すことができます！**
作文などの編集（推敲）を何度も行うことが可能です。
- ⑤ **瞬時に情報を共有することができます！**
教師から子どもに課題を配布したり、子どもから教師に考えを提出したりなど、瞬時に情報を共有することが可能です。
- ⑥ **情報を保存・蓄積することができます！**
クラウド上に保存すると、いつでも、どの端末からでも情報を取り出すことが可能で、評価に活用することもできます。

ICTの活用事例をお寄せください！

本通信を通して、管内でのICTの好事例を広めていきたいと考えています。**授業（対面授業やオンライン授業）、生活、家庭学習、校内研修等**で「ICTをこのように活用すると効果的だった」という事例がありましたら、ぜひ、京築教育事務所教育指導室「けいちくGIGA通信」担当(shigenaga-s8619@pref.fukuoka.lg.jp)まで情報（活用場面や方法、写真等）をお寄せください。お待ちしております。

